

# 2017年3月期第3四半期 決算説明会

2017年1月31日  
株式会社トプコン  
取締役兼執行役員 CFO 財務本部長  
秋山 治彦



## 2017年3月期第3四半期 決算説明会

I

2017年3月期第3四半期決算報告

II

2017年3月期通期計画

III

参考資料

# I. 2017年3月期 第3四半期決算報告

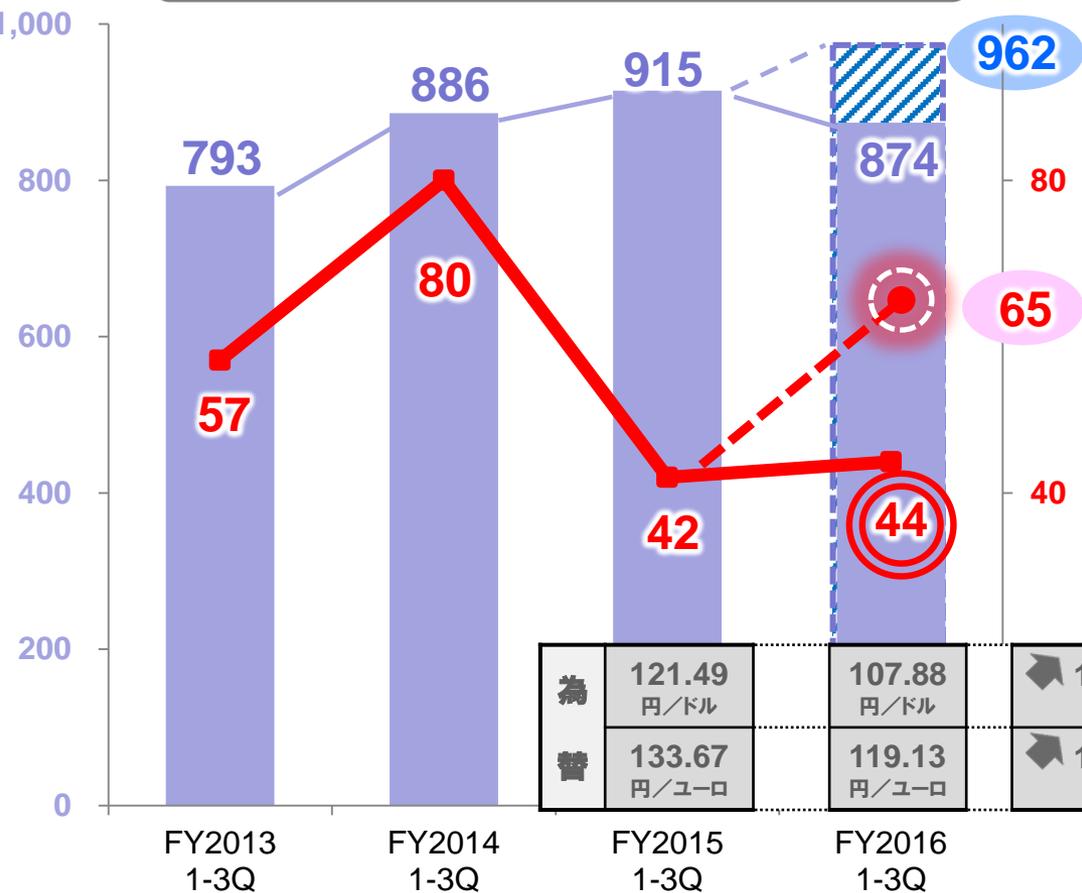
## I-1. 2017年3月期第3四半期決算報告

## I-2. 事業別状況

# FY2016 3Q累計の結果 <業績は順調に回復>

## 3Q累計業績推移

売上高 (億円)    売上高    為替控除後売上高    営業利益    為替控除後営業利益    営業利益 (億円)



- ・前年同期比増益
- ・円高の影響受けるも 実質的に増収・大幅増益

POC: 営業利益 前年同期比約3倍  
ICT自動化施工伸長

為替	121.49 円/ドル	107.88 円/ドル	▲ 13.61 円
	133.67 円/ユーロ	119.13 円/ユーロ	▲ 14.54 円

円高

POC=ポジショニング・カンパニー

# FY2016 3Q累計実績 <前年同期比増益>

(単位:百万円)

[連結]	FY2015 /1-3Q	FY2016/1-3Q				
	実績	実績	前年 同期比	FY15為替レート換算		
				換算値	前年同期比	前年同期%
売上高	91,542	87,422	△4,119	96,230	4,688	105%
売上総利益 (売上総利益率)	46,716 (51.0%)	45,125 (51.6%)	△1,590			
販管費	42,565	40,713	△1,852			
営業利益 (営業利益率)	4,150 (4.5%)	<b>4,412</b> (5.0%)	261	6,540 (6.8%)	2,390	<b>158%</b>
営業外損益	△956	△1,403	△447	△1,062	△106	
経常利益	3,194	3,009	△185	5,478	2,284	172%
特別損益	△271	△174	96			
税引前利益	2,923	2,834	△88			
純利益	1,098	878	△219	2,697	1,599	246%
為替 換算レート (期中平均)	USD	121.49 円	107.88 円	△13.61 円	121.49 円	
	EUR	133.67 円	119.13 円	△14.54 円	133.67 円	

\*2015年度第3四半期においては企業結合の暫定的な会計処理を行っていましたが、2015年度第4四半期に確定しましたので、本資料上は、2015年度の四半期実績について、会計処理が確定した内容を反映して表示しております。

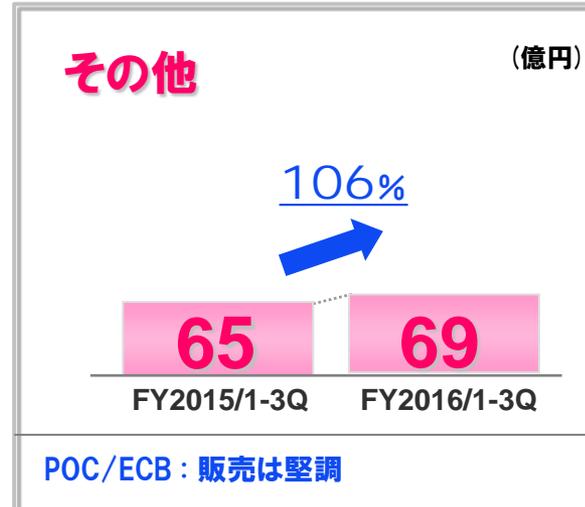
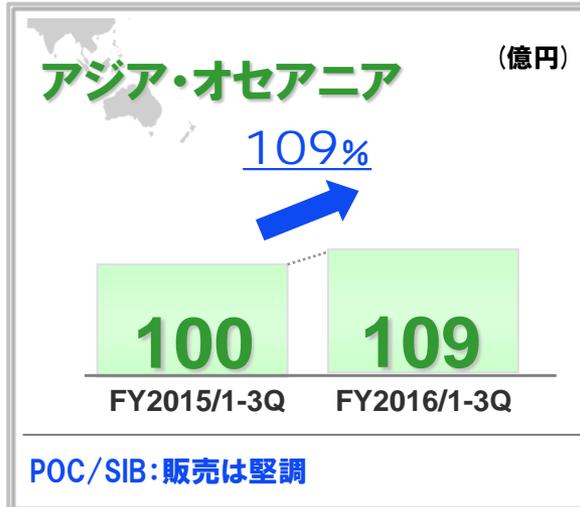
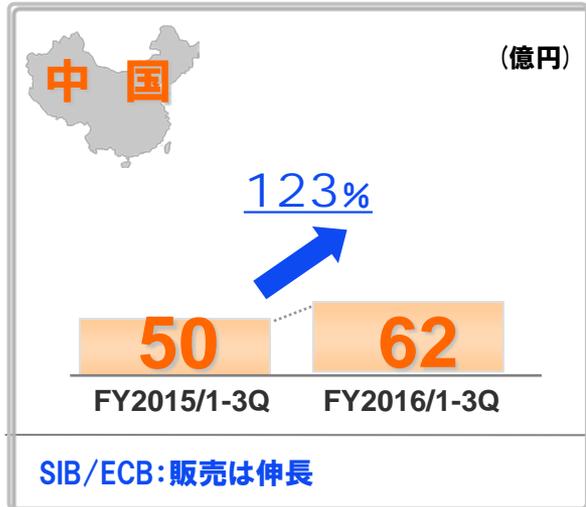
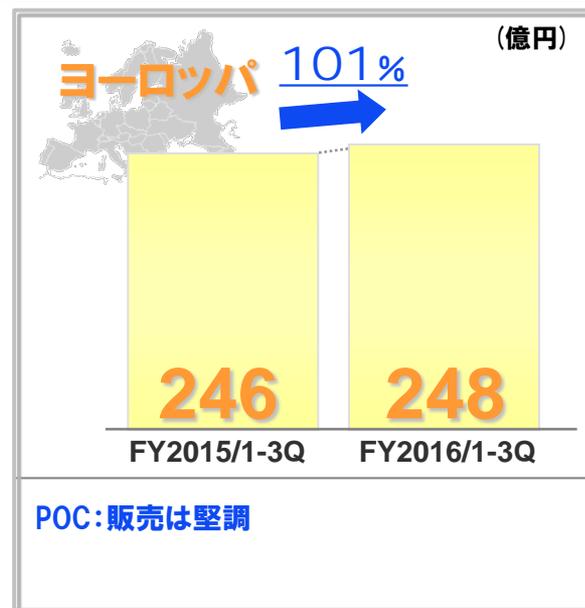
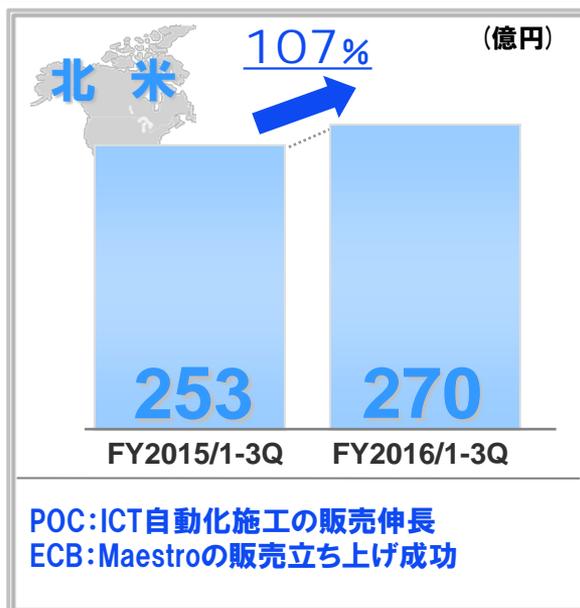
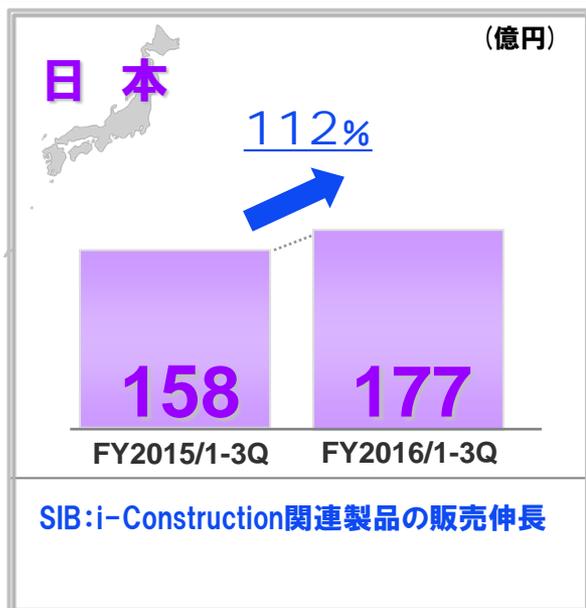
# FY2016 3Q累計事業別実績

＜ポジショニング業績大幅改善＞

(単位:百万円)

[連結]		FY2015 /1-3Q	FY2016/1-3Q				
			実績	実績	前年同期比	FY15為替レート換算	
		換算値				前年同期比	前年同期%
売上高	ポジショニング	44,711	40,734	△3,977	45,833	1,122	103%
	スマートインフラ	23,089	22,445	△644	24,117	1,028	104%
	アイケア	29,305	30,078	773	33,077	3,772	113%
	その他	4,285	2,596	△1,689	2,646	△1,639	62%
	消去	△9,849	△8,431	1,417	△9,444	405	
	合計	91,542	87,422	△4,119	96,230	4,688	105%
営業利益 (営業利益率)	ポジショニング	1,021 (2.3%)	3,010 (7.4%)	1,989 (295%)	3,387 (7.4%)	2,366	332%
	スマートインフラ	2,436 (10.6%)	1,702 (7.6%)	△733	2,268 (9.4%)	△168	93%
	アイケア	2,571 (8.8%)	1,716 (5.7%)	△854	3,076 (9.3%)	505	120%
	その他	79 (1.8%)	△123	△202	△123	△202	-
	調整	△1,957	△1,894	63	△2,066	△109	
	合計	4,150 (4.5%)	4,412 (5.0%)	261	6,540 (6.8%)	2,390	158%

# 国内・海外売上高 (前年同期比・為替影響を除く)



POC=ポジショニング・カンパニー、SIB=スマートインフラ事業、ECB=アイケア事業

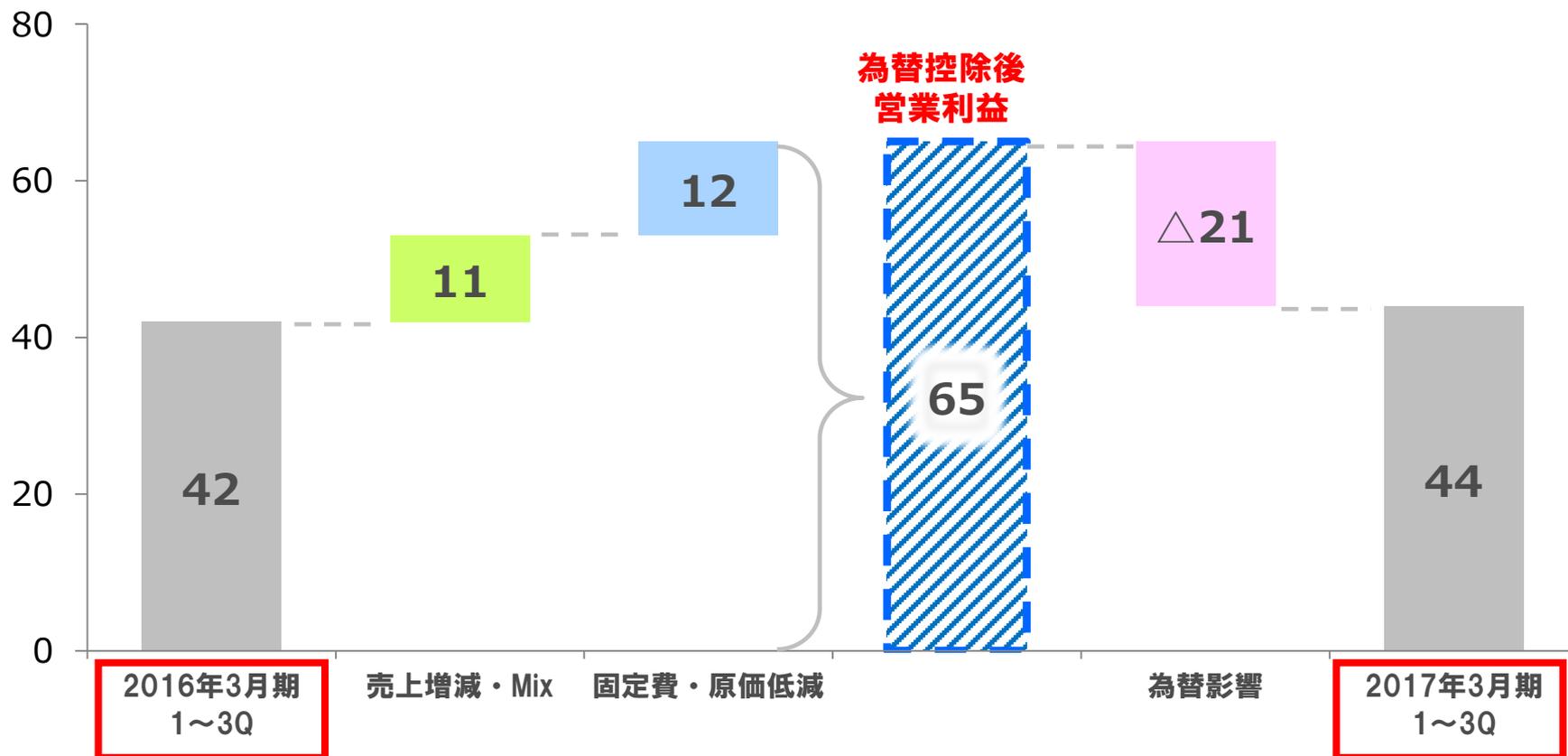
※ i-Constructionは、国土交通省国土技術政策総合研究所の登録商標です。

# FY2016 3Q累計 増減益分析

<前年同期比増益>

(営業利益ベース:前年同期比)

(単位:億円)



為替控除後  
営業利益

65

△21

44

2016年3月期  
1~3Q

2017年3月期  
1~3Q

# I. 2017年3月期 第3四半期決算報告

I-1. 2017年3月期第3四半期決算報告

I-2. 事業別状況

# 全社の状況

## 3Qまでの業績要因分析

### **+** ポジティブ・ファクター

- 業績は順調に回復 前年同期比増益
  - ・ ICT自動化施工販売伸長、3D OCT Maestro米国販売立ち上げ成功
  - ・ 原価低減・固定費削減の効果

### **-** ネガティブ・ファクター

- 円高の影響
  - ・ 売上減：△88億円、営業利益減：△21億円
  - 為替レート：円/ドル 13.61円高、円/ユーロ 14.54円高（前年同期比）

## 3Qまでの業績要因分析

### + ポジティブ・ファクター

- ICT自動化施工販売伸長（前年同期比115%）
- IT農業は2四半期連続で前年同期比プラス
- 営業利益の大幅改善（前年同期比約3倍）  
新製品投入、原価低減・固定費削減の効果大

## トピック

- SAME DEUTZ-FAHR社※とOEM包括契約を締結（リリース日：2016年11月17日）
  - ・IT農業のOEM供給及び次世代IoT農業ソリューションの開発について  
長期的なパートナーシップ契約を締結

※=サーメ・ドイツ・ファール社（イタリアを代表するトラクタメーカー）

## 3Qまでの業績要因分析

### ⊕ ポジティブ・ファクター

- 国内i-Construction関連製品の販売伸長 (前年同期比150%)
- インド市場における販売伸長 (前年同期比130%)

### ⊖ ネガティブ・ファクター

- 中東・南米市場の低迷

## トピック

### ■ 最先端i-Constructionのトレーニングセンタを増設 (リリース日：2016年12月22日)

- ・日本において普及が加速する「i-Construction」需要に対応すべく、福島・神戸に続き北九州市に3ヶ所目のトレーニングセンタを開設

### ■ ソフトウェア開発会社Mirage Technology社を買収 (リリース日：2016年12月8日)

- ・大容量計測データのクラウド処理への移行を見据えてMirage社を買収

※ i-Constructionは、国土交通省国土技術政策総合研究所の登録商標です。

## 3Qまでの業績要因分析

### + ポジティブ・ファクター

- 米国 3D OCT Maestroは市場での評価高く販売立ち上げに成功
- 中国 検眼市場好調、OCT販売伸長（前年同期比130%）

### - ネガティブ・ファクター

- 欧州市場：円高による価格競争力の低下

## トピック

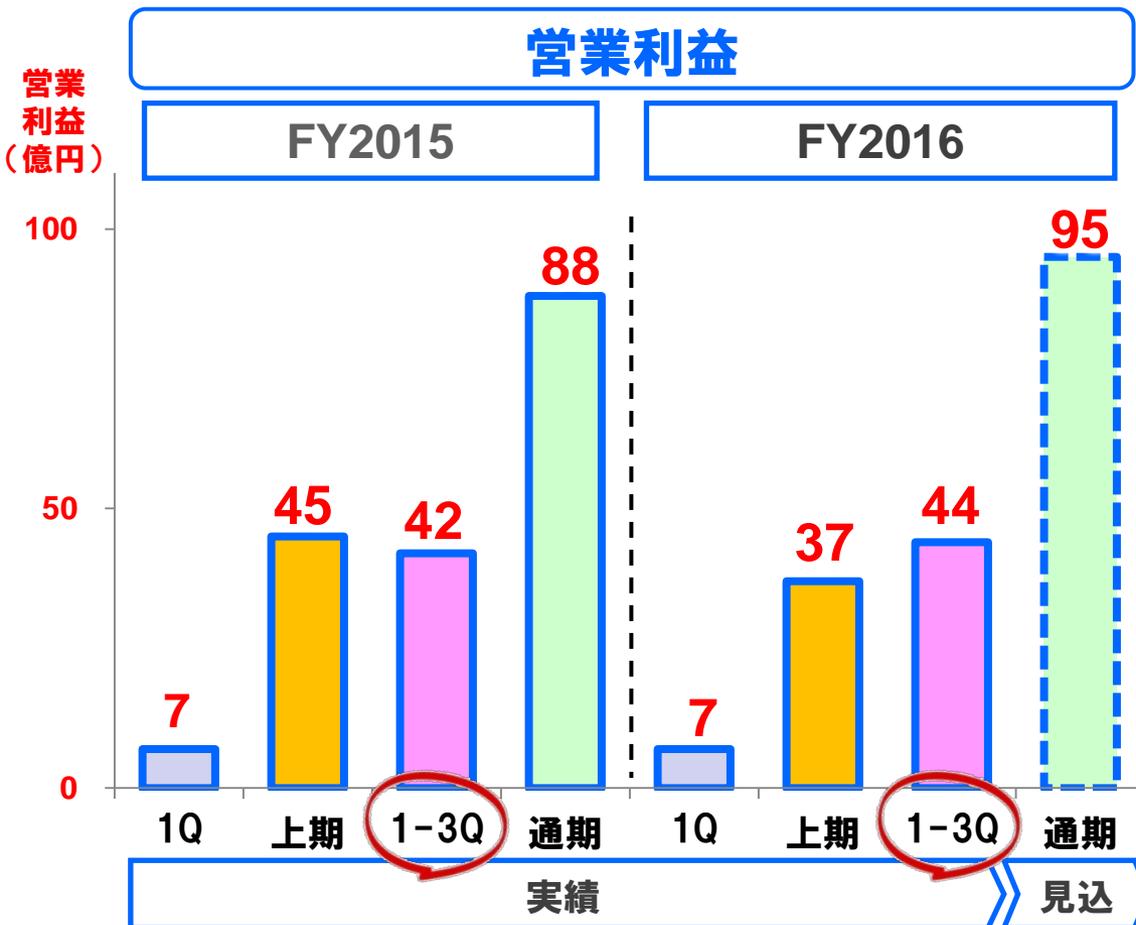
- インドの販売代理店Mehra Eyetech社買収（リリース日：2016年12月2日）
  - ・ 現地代理店を買収して、OCT及びITソリューション製品等の直販体制を強化

# II. 2017年3月期通期計画

## II-1. 2017年3月期通期計画

## II-2. まとめ

# FY2015実績推移とFY2016見込（累計）



**POC業績大幅改善**

上期は減益も  
第3四半期はプラス  
に転じる

欧米経済環境の  
不透明感が増大

為替

USD	121.34	121.50	121.49	120.16	109.07	106.43	107.88	107.21
EUR	133.86	134.60	133.67	132.36	122.47	119.12	119.13	118.18

(円)

# FY2016 通期計画

(単位: 百万円)

[連 結]		FY2015	FY2016		2016年 10月28日 公表値
		通期	通期		
		実績	見込	前年度比 (%)	
売上高		130,735	125,000	96%	125,000
営業利益 (営業利益率)		8,803 (6.7%)	9,500 (7.6%)	108%	9,500 (7.6%)
経常利益		7,366	7,500	102%	7,500
当期純利益*1		4,197	4,200	100%	4,200
ROE		6.9%	7.5%		7.5%
配当		24円	16円		16円
為替換算レート*2 (期中平均)	USD	120.16円	107.21円		105.77円
	EUR	132.36円	118.18円		117.22円

\*1 会計基準の改正により、連結財務諸表では「親会社株主に帰属する当期純利益」と記載されています。

\*2 通期計画の為替レートは1月以降105円/ドル、115円/ユーロを前提としております

# FY2016 通期計画（事業別）

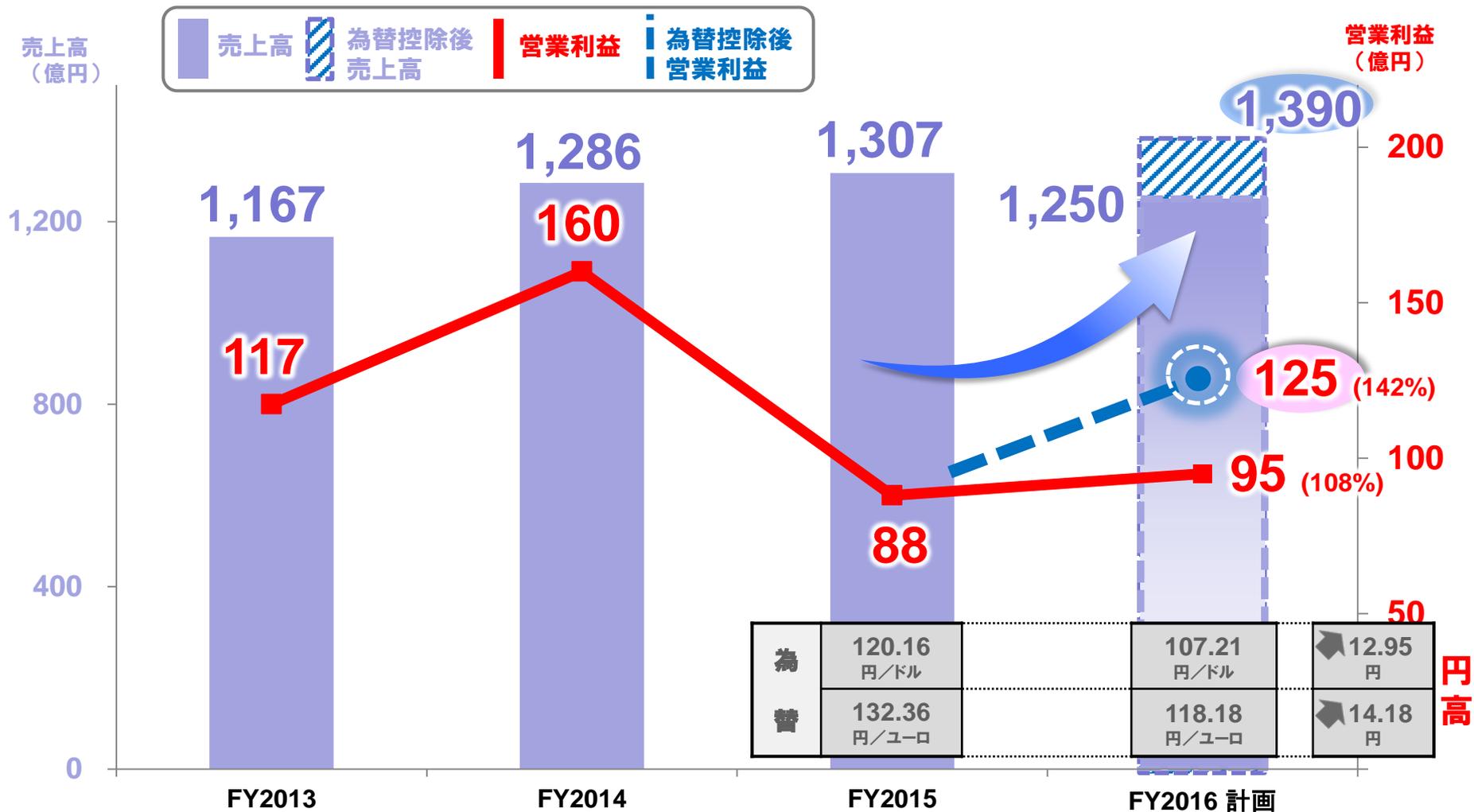
[ 連 結 ]		FY2015	FY2016		(単位: 百万円)
		通期	通期		2016年 10月28日 公表値
		実績	見込	前年度比 (%)	
売上高	ポジショニング	61,977	56,000	90%	56,000
	スマートインフラ	32,989	33,000	100%	33,000
	アイケア	43,834	44,000	100%	44,000
	その他	4,997	4,000	80%	4,000
	消去	△13,063	△12,000		△12,000
	合計	130,735	125,000	96%	125,000
営業 利益 (営業 利益率)	ポジショニング	2,385 (3.8%)	4,500 (8.0%)	189%	4,500 (8.0%)
	スマートインフラ	3,909 (11.8%)	3,500 (10.6%)	90%	3,500 (10.6%)
	アイケア	4,850 (11.1%)	4,000 (9.1%)	82%	4,000 (9.1%)
	その他	196 (3.9%)	0 (0.0%)	-	0 (0.0%)
	調整	△2,538	△2,500		△2,500
	合計	8,803 (6.7%)	9,500 (7.6%)	108%	9,500 (7.6%)
	為替換算レート (期中平均)	USD	120.16円	107.21円	
	EUR	132.36円	118.18円		117.22円

# II. 2017年3月期通期計画

II-1. 2017年3月期通期計画

II-2. まとめ

## 年度別業績推移



# 「TOPCON WAY」の改定

2011年4月に制定した「TOPCON WAY」の見直しを行い、  
2017年1月1日に新たな「TOPCON WAY」を施行いたしました。

## TOPCON WAY

### -経営理念-

トプコンは「医・食・住」に関する社会的課題を解決し、豊かな社会づくりに貢献します。

### -経営方針-

トプコンは先端技術にこだわり、モノづくりを通じ、新たな価値を提供し続けます。

トプコンは多様性を尊重し、グローバルカンパニーとして行動します。

トプコンはコンプライアンスを最優先し、全てのステークホルダーから  
信頼される存在であり続けます。

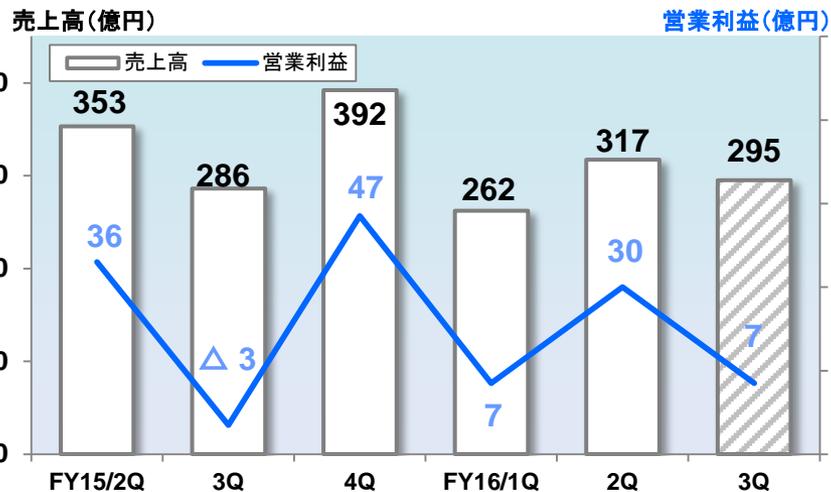
# 社会的課題を解決し事業を拡大する グローバルカンパニー



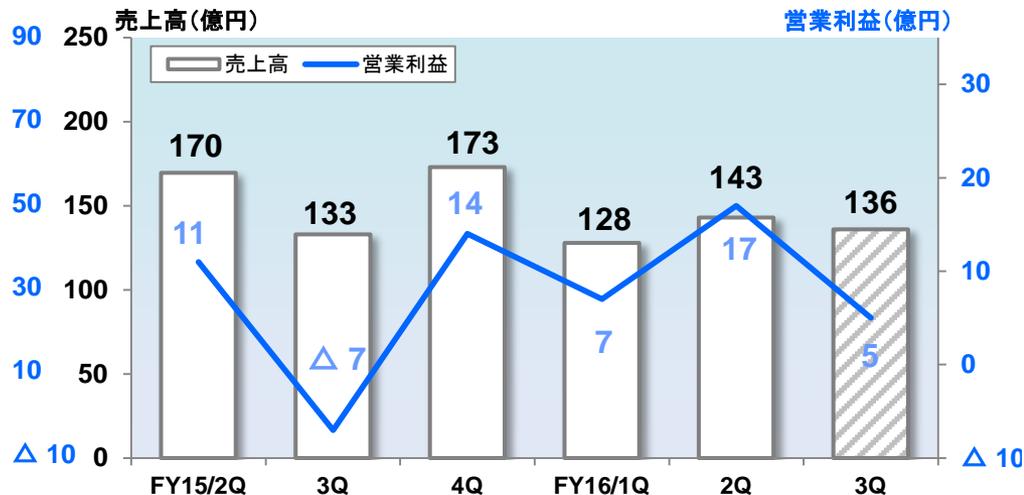
# III. 参考資料

# 四半期別業績推移

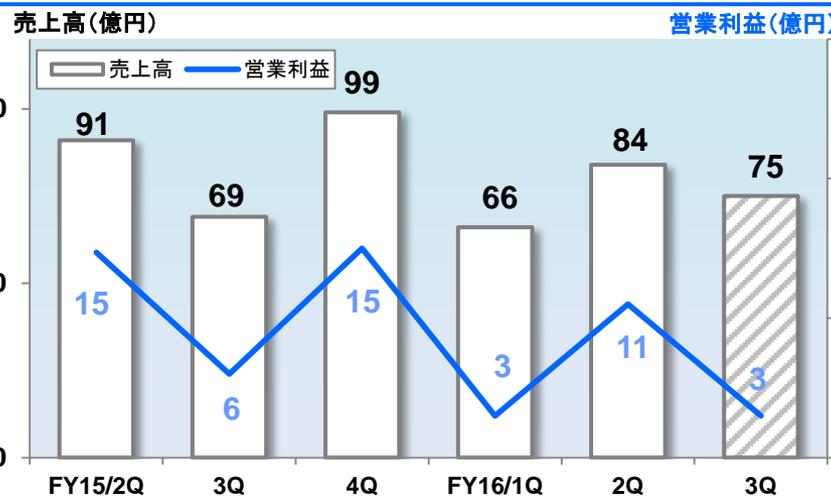
## 1. 全社



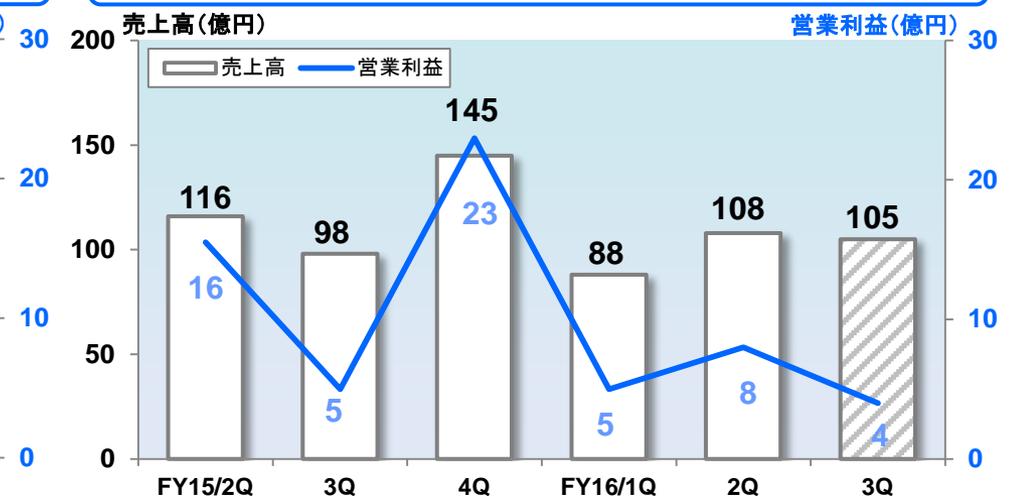
## 2. ポジショニング



## 3. スマートインフラ

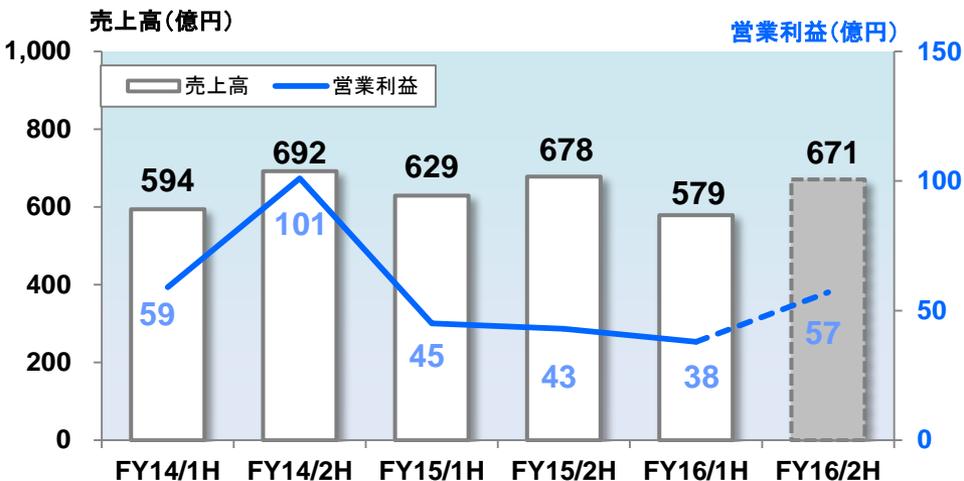


## 4. アイケア

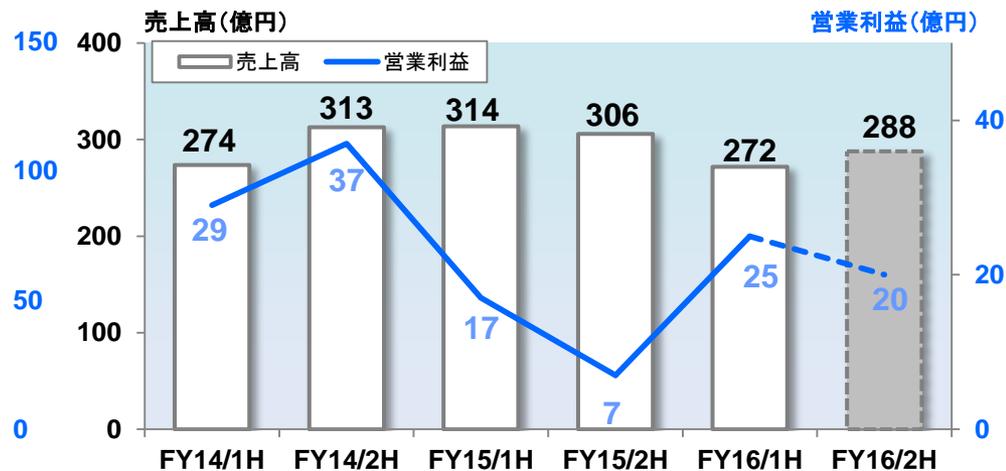


# 半期別業績推移

## 1. 全社



## 2. ポジショニング



## 3. スマートインフラ



## 4. アイケア



## 当資料取扱上のご注意

本資料に記載の業績見通し、並びに将来予測は、現在入手可能な情報に基づき、計画のもとになる前提、予想を含んだ内容を記載しております。  
実際の業績は、今後の事業領域を取りまく経済状況、市場の動向により、本資料の業績見通しとは異なる場合がございますので、ご承知おき頂きたくお願い致します。



### お問い合わせ先

株式会社トプコン 広報・IR室 広報・IR・SR部

TEL : 03-3558-2532

E-mail: [investor\\_info@topcon.co.jp](mailto:investor_info@topcon.co.jp)

URL : <http://www.topcon.co.jp>